

第5回 ときわ台駅周辺地区まちづくり協議会 議事要旨

開催日時 : 令和7年1月16日(木) 19:00~20:20
会 場 : 常盤台地域センター 和室
参 加 者 : 委員 14名
事 務 局 : 板橋区まちづくり推進室鉄道立体化推進課 6名
事務局補助 : 株式会社日本インシーク 3名
傍 聴 者 : 9名

1. 開会

2. 会長あいさつ

〔会長〕

本日は、大変寒い中お集まりいただき感謝申し上げます。

国内では、昨年・今年と大きな地震が発生していることや、現在の寒さで、青森では豪雪が起きていることから、我々も防災・減災を考えながら進めて行く必要があると思う。

本日はよろしくお願い申し上げます。

3. 区からの報告事項（陳情について）

〔事務局〕

12月の板橋区議会令和6年度第4回定例会に、常盤台・上板橋地域のまちづくりについての陳情という形で、区民の方4名から議会に対する陳情があったため、陳情の内容と区からの答弁の内容についてご報告させていただきます。

○ 陳情の内容

- ・常盤台・上板橋地域のまちづくり計画については、策定の過程において、地域住民に対する説明会を開催して、経過説明を行い、その中で住民から意見を聴取する機会を設けて欲しい。
- ・住民に対する経過説明をSNSで発信して欲しい。

○ 区からの答弁の内容

- ・地域住民に対する説明会については、来年度協議会において地域懇談会の開催を予定しており、その中でマスタープランの基本構想やマスタープランの最終案について、地域住民の皆様と意見交換を行う機会を設ける予定となっている。
- ・経過説明について、地域懇談会の開催についてはSNSを利用して周知を行う他、協議会の開催状況については、既に区のホームページでは発信しているところであるが、今後、SNSを利用した配信等を検討していく。

陳情については、12月3日の都市建設委員会で審査され、12月13日の本会議で不採択となっている。

4. 議事

議題

- (1) 今回の内容と今後のスケジュールについて
- (2) 第4回協議会の振り返り
- (3) ワークショップ：(仮称) まちづくりマスタープラン[基本構想]の検討
- (4) その他

- (1) 今回の内容と今後のスケジュールについて
- (2) 第4回協議会の振り返り
- (3) ワークショップ：(仮称) まちづくりマスタープラン[基本構想]の検討
 - ＜(株)日本インシークより資料1、資料2、別紙について説明＞
 - ＜全体ワークショップを実施＞

【検討1】まちの将来像（キャッチフレーズ）

〔ワークショップの結果〕

- ・まちの将来像（キャッチフレーズ）について、今回出てきたキーワードを踏まえて、皆様にご検討いただき、次回の協議会で改めてご意見をいただく。

〔主な意見〕

- ・C案はただの語呂合わせになってしまっており、後ろのテーマ・目標等とのつながりが感じられず、ときわ台の方向性や特徴が示されていない。
- ・C案は漠然としており、何が言いたいかわからないため、具体性があると良い。
- ・キャッチフレーズは、あまり長くなく、誰でも口ずさめるものの方が良く、具体性はなくても良い。
- ・「やさしいまち」は後ろのテーマ・目標等に繋がっていると思う。
- ・「やさしい」や「住みやすい」まちを目指すことは、当たり前なので、他の地域に無いような、もっとインパクトのあるキャッチフレーズにしたい。
- ・分断の解消が非常に重要との意見があったことから、「共有できる」も良いと思う。
- ・「やさしいまち」の部分を他の言葉に変えたい
(例：おしゃれなまち、ゆとりがあるまち)。
- ・3案の中では、B案が良いと思う。
- ・A案とB案を組み合わせ凝縮する方法もあると思う。

【検討2】まちの将来像（テーマ）

〔ワークショップの結果〕

- ・まちの将来像（テーマ）について、資料2のとおりとする。

〔主な意見〕

- ・（修正意見なし）

【検討３】まちづくりの目標

〔ワークショップの結果〕

- ・まちづくりの目標について、資料２のとおりとする。

〔主な意見〕

- ・やわらかい表現になっており、良いと思う。
- ・（修正意見なし）

【検討４】まちづくりの課題

〔ワークショップの結果〕

- ・まちのづくりの課題について資料２のとおりとする。

〔主な意見〕

- ・（修正意見なし）

【検討５】まちづくりの方針と提言

〔ワークショップの結果〕

- ・テーマ１方針１「南北を安全・快適に移動できる環境の充実」に関して、東上線の立体化以外の方法について、ご提案があれば、次回ご意見をいただく。
- ・テーマ４方針２「良好な住環境の維持・更新の促進」について、更新に変わるふさわしい単語があれば変更するが、現時点では更新の促進を削除し、「良好な住環境の維持」に修正する。
- ・テーマ５方針１「ときわ台の特色ある歴史・文化の継承・発信の促進」について、「教育」を追加し、「ときわ台の特色ある歴史・教育・文化の継承・発信の促進」に修正するとともに、今後具体的な内容を検討する際には、「教育」を含めた検討を行う。
- ・ＳＤＧｓについて、計画全体に関係する内容であるため、ＳＤＧｓの記載やその方法等については、今後検討する。

〔主な意見〕

（全体について）

- ・各方針について、対象や主体を明確にした方が良いと思う。
- ・テーマ４またはテーマ５のどこかにＳＤＧｓに関する記載を加えると良いと思う。
- ・教育文化都市に関連した記載があると良いと思う。

（テーマ１方針１「南北を安全・快適に移動できる環境の充実」について）

- ・提言に「鉄道の立体化」等を入れたい。
- ・鉄道の立体化には時間を要するため、例えば、駅の橋上化等により南北を自由に移動できるようにするなど、まずはひとだけでも通れるようにして、その後立体

化していく方法もある。

- ・踏切問題と地域の分断の解消について、別の方法を考えてもらっても良いと思う。

(テーマ4方針2「良好な住環境の維持・更新の促進」について)

- ・更新の促進がわかりにくい。
- ・更新を別の単語(発展や刷新等)に変更すると良い。
- ・更新の促進は削除しても良い。

(テーマ5方針1「ときわ台の特色ある歴史・文化の継承・発信の促進」について)

- ・生涯学習等の観点から、「歴史・文化」に教育を追加したい。

【その他(質疑応答等)】

〔委員〕

- ・課題に関して、計画の内容を具現化する際に、区から資金提供や助成金等の支援をしていただけるのか。例えば、課題の中に、「商店街の活性化」があるが、商店街は個人個人が経営しているため、それに対して勝手に何かを強制することはできない。

〔株日本インシーク〕

- ・今年度基本構想をまとめ、来年度まちづくりマスタープランとして、区に提言をする予定である。その提言を受け取った後、区でも考えつつ、皆様とも知恵を絞りつつ、何ができるかを検討していくことになると思う。
- ・助成金等の支援を確約できるかと聞かれると、現時点では白紙だと思うが、皆様の思いとして、どのようなことをしていきたいかを区に示し、その後具体的な事業や取り組みを検討していくことになると思う。

〔委員〕

- ・踏切の混雑や事故の問題は誰もが意識していることだと思う。まちづくりを検討していくことの大切さは理解しているが、まずは立体化の話が重要だと思う。

〔株日本インシーク〕

- ・立体化を実現する上でも、地域のまちづくりについて検討を行い、地域の皆様へ合意を図った上で、提言として発信していくプロセスが必要になる。
- ・また、鉄道立体化は、目的ではなく手法の一つであることから、資料2の中では、踏切の混雑・事故の解消や踏切による南北の分断の解消を目指して、立体化を促進するという説明文を記載している。

〔事務局〕

- ・来年度は、踏切の問題や、健康、子育て等の諸問題に踏み込んで検討していくことになる。今回で全てを決めるというわけではないが、この構想が、ときわ台の未来に向けた大きな方向性を作るという認識を改めてお伝えしたい。
- ・また、鉄道を立体化するだけで全ての課題を解決することは難しいが、鉄道の立体化を50年・100年に一度のまちづくりの機会ととらえて、立体化を契機とした子育てや防災、駅前広場等、色々なまちづくりにつなげていくことが大きなミ

ッションだと考えている。

〔株日本インシークより総括〕

次回は、今回の結果を踏まえて構想の体系図の修正案を示し、協議会だよりやアンケートの内容を併せて確認できればと思う。今後、協議会だよりやアンケートで構想の体系図（案）について、地域の皆様に周知し、意見を伺うことになる。

また、来年度にはより具体的な検討を進めて行くことになるが、その中で、必要に応じて、構想の体系図の表現を修正していくことも想定している。

今回は、ワークショップがいつもと異なる進め方で、戸惑った方もいるかもしれないが、ご協力いただき感謝申し上げます。

5. 閉会